

情報共有Cloudサービス

basepage

による

道路構造物点検システム

KTS 川田テクノシステム株式会社

道路点検システムについて

basepage

- 本システムは、国土交通省より省令で規定された長さ2m以上の橋と全てのトンネルについて、5年に1回の近接目視を基本とする点検の管理および情報検索、情報蓄積を行えるものです。（全国で2m以上の橋は約70万橋、トンネルは約1万本）
- 本システムは、橋梁、トンネルに加え、6種の道路構造物の点検に対応しています。



ホーム > 報道・広報 > 報道発表資料 > 「定期点検要領」の策定について

「定期点検要領」の策定について

2014年6月25日

高度経済成長期に集中的に整備されてきたトンネル、橋等の老朽化が進行しており、これらの道路構造物を効率的に維持管理していくことが求められています。

また、平成26年4月14日の社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会において、「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」がとりまとめられ、維持管理の重要性が指摘されているところです。

これを受けて、道路法施行規則の一部を改正する省令（平成26年国土交通省令第39号。以下「省令」という。）及びトンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示（平成26年国土交通省令告示第426号。以下「告示」という。）が平成26年3月31日に公布され、同年7月1日より施行されます。

これにより、トンネル、橋等の点検は近接目視により5年に1回の頻度を基本とし、その健全性については4段階に区分することになります。

そのため、地方公共団体における円滑な点検の実施のための技術的助言として、省令及び告示の規定に基づいた、具体的な点検方法、主な変状の着目箇所、判定事例写真等を示した定期点検要領を策定しましたのでお知らせします。（参考：[「定期点検要領」に関する地方公共団体への意見照会について](#)）

道路点検システムの特徴（１）

basepage

- 本システムは、道路橋梁、歩道橋、トンネル、カルバート、シェッド、大型標識柱の点検に対応しています。
- 上記構造物以外も点検できるようにカスタマイズサービスも行っています。（多様な構造物の点検情報を一元管理可能です。）
- 構造物の諸元は、画面から直接入力できるだけでなく、CSV形式のファイルから一括登録が可能です。（登録作業の省力化）



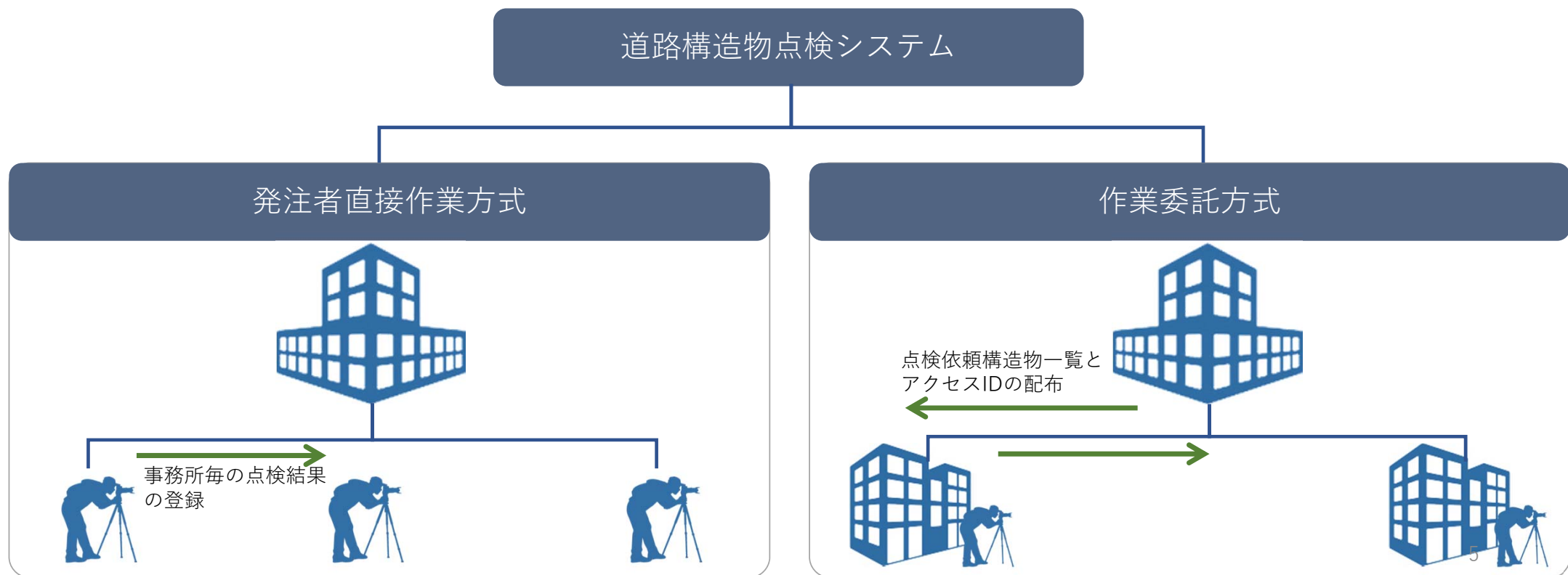
basepage

- | 南山試驗結果表 資料來源：李國鼎 | | 試驗地點 試驗時間 | | 試驗對象 試驗時間 | | 儀器 | | 本試驗時間 | | 2017年7月19日 | |
|------------------|-----|-----------|--|-----------|------|------|-----|-------|--|------------|--|
| 名稱 | | 試驗地點 | | 試驗對象 | | 試驗時間 | | 試驗時間 | | 試驗時間 | |
| 第一組 | 第一組 | 125 | | 第一組 | 4242 | | 第一組 | 411 | | | |
| | 第二組 | 412 | | 第二組 | 411 | | | | | | |
| | 第三組 | 125 | | 第三組 | 411 | | | | | | |
| | 第四組 | 412 | | 第四組 | 411 | | | | | | |
| | 第五組 | 125 | | 第五組 | 411 | | | | | | |
| 第二組 | 第一組 | 125 | | 第一組 | 412 | | 第一組 | 412 | | | |
| | 第二組 | 412 | | 第二組 | 412 | | | | | | |
| | 第三組 | 125 | | 第三組 | 412 | | | | | | |
| | 第四組 | 412 | | 第四組 | 412 | | | | | | |
| | 第五組 | 125 | | 第五組 | 412 | | | | | | |
| 第三組 | 第一組 | 125 | | 第一組 | 412 | | 第一組 | 412 | | | |
| | 第二組 | 412 | | 第二組 | 412 | | | | | | |
| | 第三組 | 125 | | 第三組 | 412 | | | | | | |
| | 第四組 | 412 | | 第四組 | 412 | | | | | | |
| | 第五組 | 125 | | 第五組 | 412 | | | | | | |

4

道路点検システムの特徴（3）

- 2つの点検作業実施方式に対応できます。



道路点検システムの利用環境について *basepage*

- 本システムは、弊社が運用しているCloudサービスにより稼働しています。従って、サーバ機器に関する設置、管理、運営等に関する負荷や人的資源の配置が不要となります。
- 本システムは、局サーバ方式でも導入可能で、WindowsServerで稼働します。また、AP/WEB/DBサーバを1つとした構築が可能であったり、DBにPostgreSQLを使用することで低コストで稼働できるようになっています。



道路点検システム画面イメージ

basepage

道路構造物点検情報管理システム
Road inspection management system

点検情報 Inspection Information | 構造物情報 Structure Data Import | 発注情報 Ordering Information | ID管理 ID management

3/35 1/1 3/3 1/1 1/1 1/1

検査項目: 構造物種類, 劣化判定, 点検年度, フェーズ

検索: 検索 クリア

構造物種類: 道路橋梁

劣化判定: 任意文字

点検年度: 2012/04/07

フェーズ: (ブランク区切りでOR検索)

一覧印刷

構造物種類	管理番号	構造物名	路線名	事務所名	劣化判定	再劣化判定	フェーズ	フェーズバー	点検実施日	未解決区画有無
橋歩道橋	bbbb	構造物名2	路線名2	事務所2	未実施		点検中		2017/06/14	
門型橋梁	bbbb	構造物名5	路線名5		未実施		点検中		2017/06/14	
道路橋梁	A125-137	第7000橋梁		事務所1	未実施		点検中		2017/06/06	
道路橋梁	A125-137	第7000橋梁		事務所1	未実施		点検中		2017/06/06	
道路橋梁	A125-131	第4000橋梁		事務所1	未実施		点検中		2017/04/18	
道路橋梁	A125-133	第5000橋梁		事務所1	未実施		点検中		2017/04/18	
道路橋梁	A125-135	第6000橋梁		事務所1	未実施		点検中		2017/04/18	
道路橋梁	A-123	橋梁A	路線A	事務所1	未実施					
道路橋梁	B-123	橋梁B	路線B	事務所2	未実施					
道路橋梁		橋梁C		事務所1	未実施					
道路橋梁	A125-139	第8000橋梁		事務所1	未実施					

道路構造物点検情報管理システム
Road inspection management system

点検情報 Inspection Information | 構造物情報 Structure Data Import | 発注情報 Ordering Information | ID管理 ID management

構造物名: 第1△△△橋梁
管理番号: B225-123

構造物種類: 道路橋梁

基本情報1

構造物名	路線名	所在地	起点側	緯度	経度
第1△△△橋梁	都道--号線	東京都北區王子1-1-5		0	0

基本情報2

高岸からの距離(km)	優先確保ルートの指定有無	架設年度	供用開始日	橋長(m)	桁間数(桁数)	活用重等級
10	なし	1985	1985/12/05	75.5	3	A区荷重

交通条件 (調査年)

交通条件 (調査年)	交通条件交通量(台)	交通条件大型車比率	交通条件荷重制限	備考
2012	500	5	0	

点検情報

点検年月日: 2012/04/07

点検者: 一部

点検責任者: 次部

部材名	判定区分 (I~IV)	点検後に記録 (I以上の場合に記録)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記録)	措置後に記録	措置後に記録 (I以上の場合に記録)	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁 II	腐食			腐食	
	横桁 III	亀裂			亀裂	
下部構造						

道路点検システム画面イメージ

basepage

道路構造物点検情報管理システム
Road inspection management system

点検情報 Inspection information | 構造物情報 Structure Data Import | 発注情報 Ordering information | ID管理 ID management

adminさん ログアウト

構造物情報

道路橋梁 | 歩道橋 | トンネル | シェッド | 入道カルバート | 門型橋

検査項目

任意文字 (ブランク区切りでOR検索)

クリア 実行 1 ページ 10 1ページあたりの表示数: 10

新規登録 (CSV読み) フォームダウンロード

事務所名	管理番号	検査名	路線名	フリガナ	所在地(国)	所在地(区)	起点側経度	起点側経度	終点側経度	終点側経度
事務所 1	R0-190604	道路橋梁A	国道100号	ドウロキョウリョウエー	東京都中央区	東京都中央区	35.8640137	139.648	35.83847	139.7194
事務所 1	A-123	検査B	路線A	キョウリョウエー	東京都中央区	東京都中央区	0	0	0	0
事務所 2	B-123	検査B	路線B	キョウリョウエー	東京都中央区	東京都中央区	0	0	0	0
事務所 1		検査C			東京都中央区	東京都中央区	0	0	0	0
事務所 1	A125-125	第1000検査	都道1000号線	ダイイチマルマルキョウリョウ	東京都中央区	東京都中央区	35.4241447	139.574951	35.3966032	139.563278
事務所 1	A125-127	第2000検査	都道2000号線	ダイイチマルマルキョウリョウ	東京都中央区	東京都中央区	0	0	0	0
事務所 1	A125-129	第3000検査	都道3000号線	ダイイチマルマルキョウリョウ	東京都中央区	東京都中央区	35.7918739	499.824371	35.7601541	499.945221
事務所 1	A125-131	第4000検査	都道4000号線	ダイイチマルマルキョウリョウ	東京都中央区	東京都中央区	35.7483864	139.850464	0	0

道路構造物点検情報管理システム
Road inspection management system

点検情報 Inspection information | 構造物情報 Structure Data Import | 発注情報 Ordering information | ID管理 ID management

adminさん ログアウト

検査項目

発注年度 発注事務所 受注者名 フェーズ

任意文字 (ブランク区切りでOR検索)

クリア 実行

年度	事務所	受注者	契約名	フェーズ	道路橋梁	歩道橋	トンネル	シェッド	カルバート	門型橋
1999		担当者	TEST1111	点検	1	1	3	1	0	0
2009	事務所 2		契約名2	措置	0	0	0	0	0	0
2016	事務所 2	発注担当者	契約名	点検	1	1	0	0	1	1
2016	事務所 3	h 担当	1111111111	点検	1	1	10	1	1	1
2016		うちだてすと	うちだてすと	点検	0	0	2	0	1	0
2016		担当者名	契約名	点検	0	0	1	1	0	0
2016		3	契約名	点検	0	0	1	0	0	0
2017		富山太郎	H29年度Aトンネル点検業務	点検	0	0	0	0	0	0
2016		ic	im1	点検	0	0	0	0	0	0
2017		丸丸丸	テスト発注	点検	0	0	1	0	0	0
2017		担当者名	措置業務	措置	0	0	1	1	0	0
2017		v	a	措置	1	0	0	0	0	0
2017		田中	テスト業務	点検	0	0	0	0	0	0
2017			test1	点検	0	0	0	0	0	0

道路点検システム画面イメージ

basepage

道路構造物点検情報管理システム

52.192.138.189/OrderingList/#

点検情報 構造物情報 発注情報 点検履歴

発注情報

概要

業務名 平成29年度***業務

工期 (前) 2017/08/22

工期 (至) 2017/08/24

フェーズ 点検

発注者情報

団体名 東京都

部署 道路管理部

担当者名 発注 太郎

電話番号 03-1234-5678

E-mail k-kudo@kts.co.jp

受注者情報

会社名 点検コンサルタント株式会社

部署 テクニカル部

担当者名 受注 一郎

電話番号 03-9876-5432

E-mail

アクセス情報

ID 9UKTnd7HwmG

Password FdYPIEDUT5s

対象構造物

管理番号	構造物名	路線名	構造物種類
1	トンネル1	路線名	トンネル
2	トンネル2	路線名	トンネル
3	トンネル3	路線名	トンネル

印刷 修正・変更 閉じる

道路構造物点検情報管理システム

52.192.138.189/ManagementLoginUser

点検情報 構造物情報 発注情報 ID管理

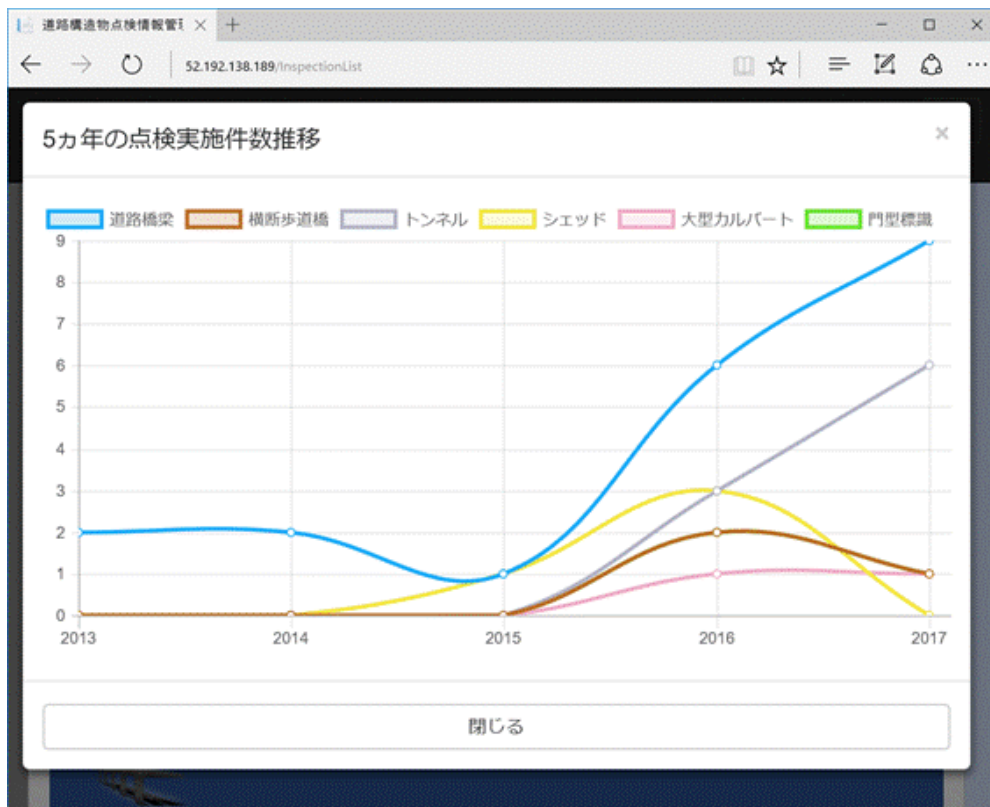
ID管理

全選択 クリア 印刷 通知

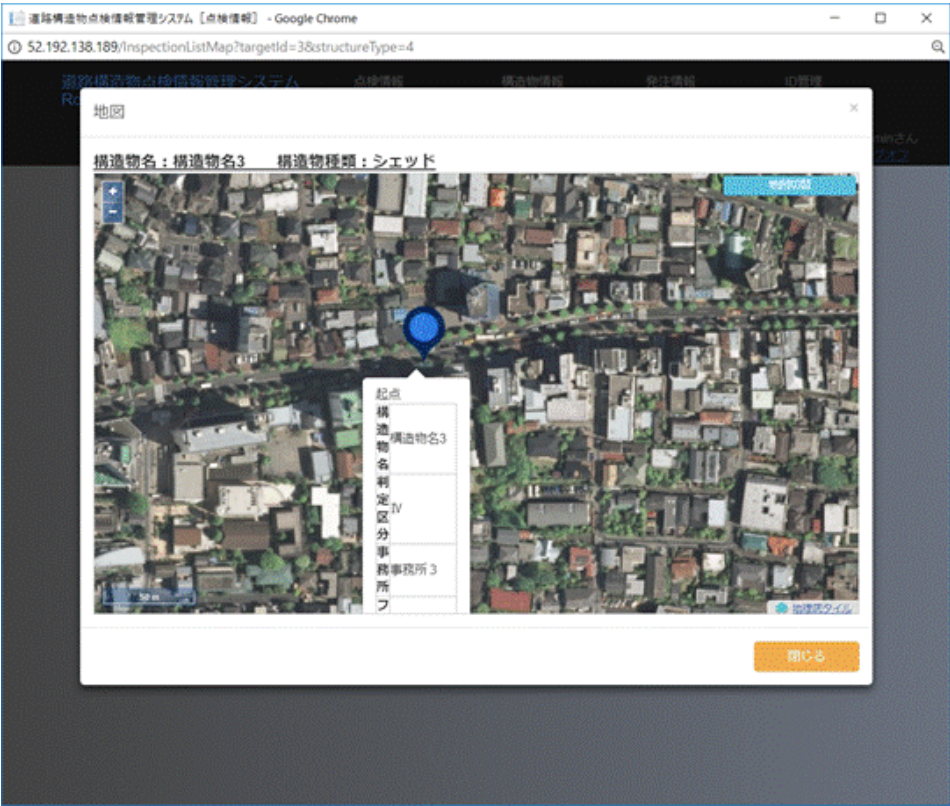
権限	事務所	ログインID	団体名・会社名	部署	担当者名	電話番号	E-Mail
☐	システム管理者	admin	団体	部署	担当者	123	aku@example.com
☐	本庁職員	honcho	団体名2				
☐	事務所職員	jimu					
☐	調査実施者	soschi					
☐	点検実施者	admin2	発注団体名	発注部署	発注担当者	123	123@example.com
☐	点検実施者	admin3	h団体	h部署	h担当者	123	aaa@example.com
☐	本庁職員	aaaa	1	2	3	4	aa@example.com
☐	システム管理者	uchidatest	うちだてすと	うちだてすと	うちだてすと	うちだてすと	uchidatest@test.com
☐	システム管理者	test12	test2	test3	test4	test5	aaa@aaa.com
☐	点検実施者	aaaaa		部署	担当者名	1	1@example.com
☐	調査実施者	SKuGMAay2ub	川田テクノシステム株式会社	TIC	秘書	03-5561-7711	t-inazawa@kts.co.jp
☐	点検実施者	PxdgIK7KaCW0	1	2	3	4	t-inazawa@kts.co.jp
☐	点検実施者	gUX0Vug8u	富山県	土木部	富山太郎	00000000	igt.com
☐	事務所職員	jim1	駒込1		ic		ic@ne-con.ne.jp
☐	点検実施者	jin1	駒込1		ic		ic@ne-con.ne.jp
☐	調査実施者	BhPvAEIXBLQ0	あああ	あああ	あああ	あああ	aaa@aa.aa
☐	調査実施者	test3	aaa	aa	aa	aa	aaa@aa.aa
☐	システム管理者	1234	あああ		あああ		aaa@aaa.aa
☐	システム管理者	test2	test		test	test	test@test.test
☐	本庁職員	test4	test		test		test@test.test
☐	点検実施者	QmN8wLUJOW	丸丸コンサルタント	丸丸部署	丸丸丸	00-0000-0000	00@000.co.jp
☐	調査実施者	zYMeUKdFYzM	受注者	部署	担当者名	000-1111-2222	aa@b.com
☐	調査実施者	MTcQobd3bA7	a	b	v	c	aa@b.com
☐	点検実施者	test123	点検コンパニ	あああ	田中	0123-456-7890	aaa.com

道路点検システム画面イメージ

basepage



道路点検システム画面イメージ



点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

フリガナ 名 称	フリガナ トンネル2	路線名	路線名	管理者名	緊急輸送道路
所在地	自 至	所在地自 所在地至	点検業者・点検者名	点検年月日	代替路の有無
起点	緯度 経度	35.70378876 139.697937	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	トンネル延長 L= m
終点	緯度 経度	35.70285034 139.7751923	トンネル 本体工	トンネル 本体工	トンネルの分類
			材質劣化 II 0箇所 III 1箇所 IV 0箇所	トンネル毎 の健全性	III
			漏水 II 0箇所 III 0箇所 IV 0箇所		附属物の 取付状態
			外力 II 0スパン III 0スパン IV 1スパン		

トンネル変状・異常箇所写真位置図

注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。

注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。

注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。

注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。

※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。